

日本で唯一の医療・看護保育も 乳幼児保育と高齢者介護を両立して 地域社会の発展をめざす

グリーンネット

グリーンネット（横浜市旭区二俣川、鈴木敏男社長、045・363・5580、<http://www.greenet-group.jp>）は、平成11年に創業し、保育・介護事業を行っている。本社ビルであるアベニールの1階から3階で「横濱あんじゅ保育園」、4階部分で「コラージュ二俣川」を運営している。

市認可保育園である「横濱あんじゅ保育園」は、定員90名で0歳から5歳までの子どもたちが日々楽しく過ごしている。園庭はないものの、自社農園で二十日大根などを育てて「食育」を進めたり、園近隣にある数多くの公園まで毎日歩くことにより、交通ルールを学び、自然に親しみながら季節を感じるができる。また、保健師や看護師を複数配置し、医療機関や地域療養センターなどと連携しつつ、難病やケガ・障がいを持った子どもたちを受け入れ、心身のケアや遊戯などの楽しみを提供しながら成長をサポートする医療保育、看護保育を日本で唯一行っている点も特長だ。

「コラージュ二俣川」は小規模多機能型住宅介護事業所である。利用者が可能な限り自立した日常生活を送れるよう施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせたサービスだ。利用者のニーズに合わせて、買い物や美容院、通院などにも同行している。

地域社会のコミュニケーションを大切にする会社では、月に1回程度、

高齢者と園児たちとの交流も続けている。少子化・核家族化が進む現代において、世代を越えたふれあい的好评を博している。感動や思いやりが薄れている今だからこそ、「生きる『よろこび』・涙あふれる『かんどろ』・人への『おもいやり』」の心を、これからも地域社会に提供してまいります」と鈴木社長は意気込みを語る。



子どもたちが過ごす「横濱あんじゅ保育園」



「コラージュ二俣川」のスタッフのみなさん